

さくらだより



第3号 令和2年12月14日

障害者デイサービスセンターさくら

瑞浪市土岐町 5200 番地

[TEL] 66-1211

[HP] <http://www.m-shakyo.org>

気づけば、今年も残り1か月。「コロナ」という言葉に振り回された1年でしたが、6月より活動も徐々に再開でき個人作品や共同作品、毎年楽しみにしている五平餅作りも行うことができました。これからも万全の感染対応で、利用者さんに安心して楽しんでもらえるよう計画して行きたいと思います。



夏まつり(8月)



午前中に昼食の冷やし中華を作り、午後は恒例の浴衣に着替えての写真撮影。そして、レクとして初めて体験するカーレットや魚釣り・輪投げなどで遊びました。勝負となると真剣な表情になり、うれしい時、残念な時の声がたくさん聞こえました。



メダル渡し(9月)

毎年、児童館の運動会等で使ってもらえるよう利用さんと一緒に作っています。コロナの時期でしたが、自分たちの手で渡しに行ってきました。



たこ焼きごっこ(9月)



利用者さんがパソコンで注文票を作り、それをもとに職員が作りました。たこ焼きの具材は、ウィンナー、チーズ、ちくわ魚、肉ソーセージです。1番人気はウィンナーでした。



五平餅作り(11月)



今年初の五平餅作り。分量を計ったご飯を、ラップを敷いた型の上に乗せ、カいっばい抑えて伸ばしました。後は職員の焼き加減。活動の最中に、たれの焼ける匂いが部屋の中に入ってきて「いい匂いするね、お腹すいてきた」と言う利用者さんもうなずいていました。ほとんどの人が五平餅を2本ぺろりと食べました。



「ぎゅう、ぎゅう、ぎゅう」



「4本は食べれるな!!」



「これ、おいしいよ」

クリスマス会(12月)



「シングルベル、シングルベル、鈴が鳴る〜」サンタの足音がそこまで聞こえてきましたよ。さくらでは、午前中にチキンやシチュー、サラダをみんなで作り、午後からはラダーゲッターというゲームやビンゴをして楽しみます。

